

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病態学Ⅰ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	富永 一郎
授 業 概 要					
臨床病態学総論で習得した基本的知識を前提として、疾病の成り立ち・症状・臨床検査の意義や応用について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・病気と検査について基本的知識を身に付ける。 ・各臨床検査の目的、意義、有用性について説明できる。 ・臨床検査を通じて病態解析力を身に付ける。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	感染症と検査（院内感染対策含む）				原田 一
2	悪性腫瘍と検査				富永 一郎
3	遺伝性疾患の検査				山口 聖子
4	消化管系の検査				富永 一郎
5	肝・胆・膵系の検査				長谷川利春
6	循環器系の検査				富永 一郎
7	腎・尿路系の検査				〃
8	体液・電解質・酸－塩基平衡の検査				〃
9	呼吸器系の検査				〃
10	脳・神経・筋肉系の検査				福田 修
11	血液・造血器系・出血性素因の検査				富永 一郎
12	内分泌系の検査				福田 修
13	代謝・栄養異常の検査				富永 一郎
14	アレルギー性疾患・免疫病・膠原病の検査				〃
15	重金属中毒の検査				〃
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容が広範囲になるので予習、復習を十分行い、基礎知識をしっかり付けること。 ・不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験（70％）及び小テスト（30％）により評価する。 ・講義終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・再試験の評価方法：再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、基礎医学実習、生化学Ⅰ 生化学Ⅱ、病理学、感染生体防御学、医学概論、医学検査学演習					
教科書、参考書					
〔教科書〕 最新臨床検査学講座 臨床医学総論、臨床検査医学総論 奈良信雄 他 医歯薬出版					
〔参考書〕 カラーアトラス ビジュアル臨床血液形態学他 臨床検査のガイドライン2015 検査値アプローチ、症候・疾病・検査の評価法 日本検査医学会・厚生労働省 異常値の出るメカニズム第6版 河合 忠 他 医学書院 臨床検査データブック2017-2018 医学書院 配付資料					